

憲法フェスティバル

今年のテーマ

わたしの・あなたの・だれかの人権
～基本的人権を考える～



撮影：橘蓮二

スタンダップコメディー

松元 ヒロ
15:05～

講演

『持続可能な共生社会と
コモンの思想』

経済思想家
斎藤 幸平
12:50～



撮影：丸山光

2026

6/20(土)

開場 12:15
開演 12:45
終演 16:05(予定)

参加券：前売 1,800 円 / 当日 2,300 円

障がい者 1,000 円 (付添人 1 名まで無料) 学生以下 無料

- ★手話通訳がつかます (協力 東京手話通訳等派遣センター)
- ★保育スペースあります (希望される方は前もってご連絡ください)
- ★車椅子でご来場の方は事前にお申し出ください

YouTube 配信を行います！

詳しくは下記のFacebookページをご覧ください

主催：憲法フェスティバル実行委員会

〒102-0085 東京都千代田区六番町 3-11 テシコ六番町ビル 4 階 南北法律事務所 気付

TEL:03-3511-5749 FAX:03-3511-5784

Web <https://www.kenfes.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/KenpouFestival/>



会場：日経ホール

東京都千代田区大手町1丁目3-7 日経ビル 3階
東京メトロ・都営地下鉄 大手町駅 C2b出口より
東西線 竹橋駅 4番出口より

わたしの・あなたの・だれかの人権 ～基本的人権を考える～

ここ数年、生きづらい世の中になったと感じるが増えてきました。実際、昔に比べて生きにくくなったと感じている人が、7割以上にのぼるという調査結果もあるようです。では、その原因はどこにあるのでしょうか。

その一つとして、近年の気候変動による異様な暑さが挙げられるのではないのでしょうか。日本では2025年の夏の平均気温が統計開始以来最高となりました。また、世界的にも2023年から2025年の3年間で観測史上もっとも暑い年となっています。

こうした変化の中で、豪雨やそれによる大洪水が起きるところがある一方、雨が少なく水不足に悩まされるところもあります。また、空気の乾燥を背景に大規模な森林火災が各地で相次いでいます。猛暑によって命の危険が感じられる状況であっても、物価高の影響で電気料金が気になり、エアコンの使用をためらってしまう人も少なくありません。

貧富の格差も、少しづつ広がっているように感じられます。同性婚や選択的夫婦別姓制度をめぐる議論もなかなか前に進んでいません。また、政治家が核武装に言及するなど、日本でも核の脅威が意識される場面が増えています。私たちの生活のすぐそばで、長射程ミサイルの配備が進められるといった報道に触れ、平和が後退しているのではないかと感じることもあります。

こうしたさまざまな問題の根底にあるのが「基本的人権」ではないのでしょうか。

昨年には史上初の女性首相が誕生し、多くの問題の改善が期待されました。しかし、企業献金に依存する姿勢は変わらず、内部留保を増やし続ける大企業への課税が本格的に検討されている様子も見えてきません。

私たちがより暮らしやすい社会をつくっていくためには、改めて「基本的人権」について見つめなおすことが大切なのではないでしょうか。家族や友人、知人、そして国や宗教、性的指向や性自認の違う人たち。誰の人権も大切にされる社会であってこそ、自分自身の人権も守られ、安心して暮らせる社会につながっていくのだと思います。

近年「〇〇ファースト」という言葉が広まり、外国人やLGBTQの人たちを標的とした差別や排斥が目立つようになっていきます。しかし、私たちが感じている生きづらさは、外国人やLGBTQの人たちのせいではありません。差別や排斥によって生きづらさが解消されることはないのです。

むしろ、そうした動きは社会を分断し、その先は、私たち自身の人権がさらに踏みにじられる状況や、戦争へと近づいてしまう未来が待っているのではないのでしょうか。

戦争へと進ませないために「不断の努力」を続けること。それこそが、平和憲法を掲げる私たちの、未来への責任ではないのでしょうか。今回の企画が、「基本的人権」について周囲の人と対話を深めるきっかけとなれば幸いです。

（第一回憲法フェスティバルに寄せられたこぼれ）

木下恵介

手向けです。

誓いであり、

それが

安らかに眠れません。

魂は

死んだ人たちの

愚かな戦争で

守り抜かなければ、

平和憲法を

せめて吾々が

せめてです。

せめて、



●●● 出演者プロフィール ●●●

斎藤 幸平／経済思想家

1987年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科准教授。ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。博士（哲学）。

専門は経済思想、社会思想。Karl Marx's Ecosocialism（邦訳『大洪水の前に』角川ソフィア文庫）によって権威ある「ドイツチャー記念賞」を日本人初、歴代最年少で受賞。同書は世界10カ国で翻訳刊行されている。日本国内では、晩期マルクスをめぐる先駆的な研究によって「日本学術振興会賞」受賞。最新刊は、『マルクス解体』（講談社）。50万部を突破した『人新世の「資本論」』（集英社新書）で「新書大賞2021」を受賞。

松元 ヒロ

1952年鹿児島生まれ。1975年法政大学在学中に芸の道（パントマイム）へと進み、よく喋るマイマーとしてお笑いの道へ。

1988年～1998年「ザ・ニュースペーパー」の結成に参加した後、ソロ活動開始。「お笑いスター誕生」で優勝（笑パーティー）、「立川談志 日本の笑芸百選」（NHK BS2）に選出、TBSラジオ「永六輔その新世界」の「土曜ワイド芸能大賞」受賞など実績多数。著書に『安倍政権を笑い倒す』（角川新書）、絵本『憲法くん』（講談社）など。出演作に映画『テレビで会えない芸人』（四元義隆＆牧祐樹監督・配給：東風）、『鬼平犯科帳』（「五鉄」の亭主：三次郎役）など。2008年からソロライブ『ひとり立ち』を年に2回続行中。

（敬称略50音順）

若松 隆 吉永 小百合 吉岡 しげ美 村井 敏邦 松元 ヒロ 前田 輪音 堀尾 輝久 朴 慶南 野田 正彰 中村 梧郎 田島 征三 趙 博 古今亭 菊千代 神田 香織 鎌田 慧 金子 勝 大石 芳野 小沢 隆一 遠藤 剛 浦田 賢治 宇都宮 健児 石川 逸子 池辺 晋一郎 井上 麻矢（こまつ座） 伊藤 真 伊藤 千尋 浅倉 むつ子

2026年（第38回）
憲法フェスティバルに
私たちも賛同します
2026年2月1日現在

FAX 03-3511-5784 切り取らないで送信してください

楷書でご記入ください

お名前

〒

ご住所

ご連絡先

—

—

□に✓印をつけ、
枚数をご記入ください

□ 一般 1,800円（ 枚）
□ 障がい者 1,000円（ 枚）
□ 学生以下 無料（ 枚）

※障がい者が参加の場合、付添人1名まで無料

チケット購入は

- ①郵便振替：00170-8-731544「憲法フェスティバル実行委員会」
※ 通信欄に希望枚数と合計金額をご記入ください
- ②銀行振込：三菱 UFJ 銀行 春日町支店（普）0979506
憲法フェスティバル実行委員会 会計 北山紀子
※ 銀行振込のあと、電話・FAXで振込人名・希望枚数・連絡先等の
必要事項をお知らせください
- ③電話・FAX でお問い合わせください

■お問い合わせ・チケット販売

憲法フェスティバル実行委員会事務局 TEL:03-3511-5749 FAX:03-3511-5784
旬報法律事務所 並木(なみき) TEL:03-3580-5311
南北法律事務所 遠藤(えんどう) TEL:03-3511-5748